

奮闘の日々
20代のフレッシュユバソン鈴木化学工業所管理部
管理課業務グループ

樹脂製精密自動車部品メーカーの鈴木化学工業所（本社愛知県幸田町）。管理部管理課業務グループで活躍する鳥居剛さん(28)は入社5年目で、営業を担当している。

出身は岡崎市。大学では理系学部に進学し、化学を専攻していた。就職活動ではさまざまな企業との出会いがあったが、同社を見学し「自分がここに勤めてどのような仕事をするかイメージができた」といい、入社を決めた。同社では、入社1年目の社員はすべての部署の仕事を学び、2年目以降に正式に配属が決定する。現在の担当業務について「今でも自分に向いているかはわからないが、ここまで続けることができたので、社長や上司からは適性があると思ってもらえたのかも」と振り返る。



「お客さまに寄り添うことを大事にしている」と話す鳥居さん

ることもしばしば。顧客から怒られることもあったが「失敗してその場で立ち止まるのではなく、何ができなかったのか、それを次にどう生かすかを考える」ことを意識し、徐々に仕事のペースをつかんでいった。

鳥居さんが仕事をする上で大切にしているのは「お客さまの気持ちに寄り添うこと」。顧客の期待に応えられるよう、相手の思いをしっかりとくみ取り、納期から逆算して迅速にスケジュール調整することを心掛けている。「やりがいを感じるのは、お客さまから仕事をもらえたとき。自分の仕事が会社の利益につながっていると実感できる」と力を込める。

「営業の立場として、お客さまに絶えず仕事をいただけるよう、責任感を持って仕事に取り組むこと」を目標に掲げ、日々努力を続けている。将来的には「現場を知ることによって営業の仕事がもっとレベルアップするはず。いつかは現場も経験してみたい」と意欲を燃やす。

休日は、野球やソフトボール、ゴルフなど、積極的に体を動かしているという鳥居さん。社会人になってから始めたゴルフは「最初は誘われてしぶしぶだったが、今では週1回の練習が欠かせない」という熱中ぶり。「年の離れた人との交流もゴルフを通して広がっている」と笑顔を見せた。